

第6回利根川上流流域治水協議会 議事概要

1 日時：令和5年6月20日 14:00～14:40

2 開催方法：WEB会議

3 出席者：別紙（出席者名簿）

4 議事概要

（1）規約の変更について

構成員の追加に伴う規約変更について確認し、了承された。

（追加オブザーバー：環境省関東地方環境事務所環境対策課）

（2）令和5年度 事業概要について

令和5年度利根川上流河川事務所の事業概要について、事務局より説明。

（3）利根川上流域の特徴と自治体と連携した取り組みについて

自治体における流域治水の取り組み・事業連携による防災・減災の取り組みとして、守谷市の（仮称）守谷SAスマートIC周辺土地区画整理事業等と国の稲戸井調節池の掘削との連携について事務局から説明。

また、利根川上流域は広大な平地の氾濫域である一方で民間企業の大型施設立地が進むなど特性があることを踏まえ、民間施設が氾濫時の避難先となるよう施設の耐水化を図ったり、防災協定締結により民間施設を避難場所として位置付けるなど、流域治水の取り組みにおいて、民間企業と連携することの重要性を事務局から説明。

（4）利根川・江戸川流域治水プロジェクトについて

令和5年3月策定の利根川・江戸川流域治水プロジェクト【利根川上流区間】に新たに追加された取り組みと本協議会で追加予定の新たな取り組みについて各構成員より説明され、利根川・江戸川流域治水プロジェクト【利根川上流区間】に追加することについて確認し了承された。

(5) 出席者の主な発言

【吉岡町長】

治水というハード面では、群馬県にご協力をお願いしながら利根川だけでなく、それにつながる中小河川も含めて対策を進めている。ソフト面の対策として、昨年度4年ぶりに吉岡町防災ハザードマップを更新した。また、住民意識の啓発に関する取り組みとして、令和3年度と令和4年度に利根川の浸水想定区域付近の地区を対象に、群馬県河川課や渋川土木事務所ご協力のもと、マイタイムライン作成講習会を開催した。講習会の様子を実際に会場に行き見てみたが、住民は熱心にマイタイムラインの作成に取り組んでおり、大変有意義な講習会が開催できたと感じている。今後についても、群馬県河川課や渋川土木事務所と十分に連携をとりながら水害防止対策を進めていきたい。

【片品村長】

今年度は、行政区32地区ごとに細分化された新たな防災マップ（片品村地区防災計画）を作成した。しかしながら、計画を立てるだけでなく、防災意識を高めることが重要であるため、避難訓練等を頻繁に行っていきたい。また、昨年度は15年前に中止となった戸倉ダムの計画を復活させるべく新たに期成同盟会を立ち上げた。国土交通省、その他、色々な事業所のご協力のもと進めていきたい。いずれにせよ、村民の生命財産を守ることが私の使命であるため、引き続き、関係者の皆様方のご支援、ご協力をお願いしたい。